



受講のご案内

### 第3回

## 医療機関トップマネジメント研修コース 参加のお勧め

社団法人 全日本病院協会

会長 西澤寛俊

会員の皆様にはご承知の通り医療制度改革が進む中、平成20年度は診療報酬改定が行われ、医療機関、特に病院を取り巻く環境は、新たな局面へと変化していくものと考えられます。

社会の医療提供に対する要求は高度化・多様化しており、我々はこれまで以上に質向上、効率化を図り、公共性の高いサービス業として事業を継続して行く必要があります。そのためには、施設運営に際して医療実務（専門技術）と経営実務（管理技術）双方を兼ね備えたトップマネジャーの存在が不可欠ですが、医学教育・卒後研修の中に経営学並びにその実務習得は含まれておりません。

全日本病院協会では、平成17年度から経済産業省の「医療経営人材育成事業」に参画し、研修用教材作成を行い、平成18年度より、これを利用した医療界では数少ないケーススタディーによる研修会を開催致しております。

全7回の研修は、施設運営の際のモデルとなるような民間病院の実例をもとに、効率的、戦略的な医業運営を行うにあたっての実践的な知識や判断力の習得を目指しグループワークを中心に行っております。現在のトップマネジャーや次世代を担う理事長・院長候補の方々が全国から参加され、普段聞けない各施設の実態に関する意見交換の場ともなり、受講者間の有意義な交流も行われております。

系統的な教育と実践に基づく知識・見識に富む行動力のある経営者の育成を目指し、今年度も引き続き「医療機関トップマネジメント研修コース」を開催致します。研修で使用されるケースにつきましては追加作成も行われ、より充実した内容となっております。会員各病院の積極的な参加をお願い申し上げます。

ALL JAPAN HOSPITAL ASSOCIATION

第3回(平成20年度)

## 医療機関 トップマネジメント 研修コース

受講対象 理事長・院長の役職にある方、または将来の理事長・院長候補の方  
(会員病院限定)

開講期間 平成20年5月～11月  
全7単位、各単位2日間 土曜13:00～21:00 日曜9:00～15:00

受講料金 全7単位 500,000円(宿泊費・食事代含む)

受講定員 40名

会場 虎ノ門パストラル 他  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-1-1  
TEL.03-3432-7261(代)

申込締切 平成20年3月31日(月)



社団法人 全日本病院協会



社団法人 全日本病院協会



# Program

●講師・講義内容は変更になる場合があります。

第1単位 平成20年 5月24日・25日

## オリエンテーション、医療概論、経営概論

●講師  
飯田 修平 財団法人東京都医療保健協会練馬総合病院 院長  
伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授

■概要  
・医療概論  
医療経営をするために必要な基本的考え方と知識を提示する。医療とは何か、医療の特性、医療制度(医療提供体制と医療保険制度)、医療機関の特徴、組織とは何か、とくに病院とは何か、病院の組織図、病院の業務、医療の標準化、情報化。  
・経営概論  
医療事業において必要とされる経営学の基礎的用語・概念を中心に解説する。SWOT分析による競合相手の位置付けや、マーケティングの代表的手法を紹介する。

■演習  
＜医療概論＞  
アイスブレイクとグループ討議の導入を兼ねて  
・医療とは何か  
・医療の特性・医療機関の特徴  
・組織とは何か、病院とは何か  
・医療の標準化  
・情報化  
・医療経営とは  
・経営の基礎理論の適用  
＜経営概論＞  
法人のガバナンスを検討  
・医療機関でのガバナンスとは何か  
・医療における財務上の問題点

第3単位 7月5日・6日

## 人事管理、管理会計

●講師  
池上 直己 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授

■概要  
＜人事管理＞  
人事管理の普遍的課題について解説した後、職員ほとんどが有資格者である病院の特殊性を説明する。そのうえで、人事管理システムを導入した病院のケースについて演習、講評を行う。  
＜管理会計＞  
管理会計の基本的な考え方を解説した後、病院において診療科別管理会計を導入する際の課題について検討する。

■演習  
＜人事管理＞  
・自院における人事管理を踏まえて、ケースにおける人事管理を検討  
＜管理会計＞  
・管理会計の結果がどのように実際の管理に反映できるかを検討する。

第2単位 6月7日・8日

## 安全管理・リスク管理

●講師  
長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要  
医療安全についての社会的関心は高く、病院経営上重要な課題となっている。本単位では以下について講義を行う。  
・医療安全と質との関係  
・医療安全に関する制度  
・事例分析・評価・対策  
・医療事故発生時の対応  
・医療安全文化

■演習  
・医療事故発生時の対応  
・医療安全文化の醸成

第4単位 8月2日・3日

## 医療連携・慢性期包括評価

●講師  
池上 直己 慶應義塾大学医学部医療政策・管理学教室 教授

■概要  
＜医療連携＞  
病院における連携について、講師が行ってきた実態調査の結果を踏まえて現状とその課題を解説後、連携が絶対条件となる地域医療支援病院をケースとして取り上げ、演習、講評を行う。  
＜慢性期包括評価＞  
包括評価の導入の背景、分類基準の開発、療養病床としての対応について系統的に解説する。

■演習  
＜医療連携＞  
・自院における連携を踏まえて、ケースにおける連携あり方を検討  
・連携を進めるうえでのトップの役割  
＜慢性期包括評価＞  
・包括評価導入に伴う区分構成の変化、モニター、人員配置、収支の変化  
・病床転換や連携の新しいあり方

第5単位 9月6日・7日

## DPC

●講師  
長谷川 友紀 東邦大学医学部社会医学講座医療政策・経営科学分野 教授

■概要  
診療報酬の支払い方法は医療の内容に大きな影響を与える。本単位では以下の内容について取り扱う。  
・診療報酬支払い方式の概要  
・包括払いが医療内容に与える影響  
・医療標準化の方法(パス法、診療ガイドライン)  
・コスト分析  
・支払い方式に応じた医療サービスの位置づけの再検討

■演習  
DPCへの対応  
・病院情報システムの構築  
・パス法などを用いた医療の標準化  
・コスト分析

第7単位 11月8日・9日

## 医療における総合的質経営(TQM)

●講師  
飯田 修平 財団法人東京都医療保健協会練馬総合病院 院長  
河野 宏和 慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授

■概要  
医療への総合的質経営(TQM)の導入を検討するための、基本的考え方と知識を提示する。  
理念・方針、質管理原論・質管理手法、なぜ質向上か、量から質へ、医療の質向上、質向上活動、質管理(Quality Management)の基本的考え方、情報共有と標準化、継続的改善、PDCAサイクル、方針展開等

■演習  
・理念・方針の徹底  
・なぜ質か  
・改善の必要性  
・トップの役割確認  
・改善活動の組織化  
・推進方法検討  
・組織の活性化  
・(品)質管理  
・総合的質経営

第6単位 10月4日・5日

## BSCと広報戦略

●講師  
伊藤 一 小樽商科大学商学部 教授

■概要  
＜広報戦略＞  
広報に関する意義と方策を系統的に解説する。  
＜バランススコアカード(BSC)＞  
BSCの概要を説明し、中規模病院でのBSC成功要因を考察する。  
・BSCの成功事例の検討  
・効果測定としての職員満足度調査  
・顧客満足度向上活動とCS調査

■演習  
＜広報戦略＞  
・広告と広報の違い  
・CSRレポートの活用設計  
・各種媒体の効果と活用事例  
＜バランススコアカード(BSC)＞  
BSCの実施方法の習得  
・BSCの設計  
・運用と進捗状況の把握  
・職員満足度調査の効果  
・顧客満足度調査の設計と実施

■各単位ごとの時間割(予定)

	時間	項目
土	13:00~18:00	各テーマの講義 グループワーク
	18:00~19:00	夕食
	19:00~21:00	グループ発表・全体討論
日	9:00~12:00	ケースを利用したグループワーク
	12:00~13:00	昼食
	13:00~15:00	グループ発表・全体討論・まとめ

●単位ごとにスケジュールが変更いたします。  
●全7単位修了者には「修了証」を授与いたします。